

バストス週報

NO.155 昭和廿八年 三月十五日 発行

登録名義人 森幸一

発行所 RUA PRES.

VARGAS 188

バストス週報社 C. D. 112 発行人 織田幸吉

代 誌 一ヶ月 60- 外部 70-

バストス人にて バストス週報を よまざるなし

へちま閑談 15
真水御免勝手放題記 3

今までは自治会でも日本人會でも実は
名称などもどうでもよかつた。戦時中の
経緯からやつとのがれたと思つたら勝負
問題がそこに待つていて戦時中よりもつ
とピロピロな情態に邦人社会はとびこん
でしまつた。バストスでも御多分にこれ
の雨も降つたりした。實に馬鹿々々しい
世の中になつてしまつた。いわゆる認識
組の人ではあの混乱を統一することば出
来なかつたのが後世史家の正しい評論で
あつたらうし又彼らも己れを知つていた
から成り行きを見ていたのである。
パ線の奥都二三の現状を見ても判る道
リK組が日本人會を組織すればM組は商
工會を作つて各自競争するもつにまつた
末だに日本が大勝利だぞと云ふ馬鹿は
居るまいが当時対立した感情はそこを源
泉として今日迄融和が出来ないで居るの
である。これが一等國民の一等國民たる
所以であるのである。
しかしバストスでは石橋氏が当時の空
氣を察知して産業組合の運営昔日の如
く隆盛ならざるに乘じ自治会の復歸を策し
て一応之が成功を見たのである。
時局問題には觸れずなる可く
いや問題には觸れずなる可く
戦術が奪つた時局は是れ、割合に
好人氣の内に着々と全日本人的な會
(団体)に押し進めていつた。今日當時を
顧みてその組織に幾多の欠陥があり非が
モククレーキを指摘するは容易である
が、石橋氏の側面に人材がなかつたか又
は彼に阿諛迎合の徒が多かつたか、細部
に直る組織を得る途に徒らに数年を費し
たうらみは清きことが出来ない。彼の作
つた自治會にあつたりぬ感も懐く新興勢
力の芽生えと云ふより、ものも言はゞ来る
可きものが来たと思ふより外ないであ
らう。且つ又バストス移住地は他の邦人
植民地と異リスラ格といふ父祖をもつて
居る所に特異性がある。戦前にはスラ格
は移住地の諸施設を植民者の代表機関た
る産業組合に移管することとを公約した
色々の設備が只貰へると思つて居たが大
戦勸業後スラ格も凍結命令等ひびいて目
念ひ戦後、事情が一変したことを理由と
して只くれるのがいやになつてしまつた
ようである。

FAZENDAS
CASAS PERNAMBUCANA
FILIAES EM TODO O BRASIL

Bastos



大評判の
カーサス・ペルナンブウカサの
割引大賣出しは
引つゞき大賑ひです
またとないよい機会
端切れ・見ゆり品
掘り出しものが澤山あります
二〇%から五〇%の割引
お分思ひ切つたものです
皆さま一日もお早く御出での程

ARMAZEM DE CEREAIS
OKAMOTO

農産物仲買
岡本商會
新ジナルジネイロ ホント隣り

AMENDOIN
AMENDOINは
数量の多少にかかわらず
どうぞ
当店へ御取引下さい
パラソサ
プレツソサ
パカメント
正確・確實は當店のモットー
白米は特に吟味して御用命に志す
卸・小賣……御取引は
確實に……

いよいよアメントインの
收穫期でございませう

石橋氏は自分が作った自治會を法的に完全なものとは思って居ないから、それが完全なものにする意志がないので、全く意圖が淺淺であつたと思はれるに過ぎない。且つ今日出發するの運送を組工に批判を加ふるは些か酷に失すると思ふ。判を、これは大論文になり相だ、一寸筆が外れた。この辺で例の商賣の方に移ります。どうぞ皆さんもくと近くへお寄り下さい。

そこが聞き度い。

尋ねる人 織田 末吉
話し人 谷口 主任氏
製糸工場
三月 八日

○先日貴下の出はれた移管の件ですが、何を移管するのか、誰に移管するのか、もう少し詳しく話して下さい。
下 何れ支配人から具體的の案を提示され、と思ひますが、知らねとして、も際限なく、バスターズに關係をもつことも出来、ホ多分此の十五周年を期して實現されるでせう。
○どういふ団体が継承することに相、ですか、あなたの御考へでは？
下 もとは移管といふ言葉を使ったんですが、恐らく只ではなく一種の賣買行為に、なるのでは無いですか、登記の上で無償といふ事が認められんのですよ。

○継承団体は合法的なること、全住民者の同意によるものでないこと、まづい、ね、一部の人の形だけ整えたんではね、
○今までの自治會を認め、といふことになり、ると一寸問題ですが。
下 認めんといふのではない。合法的団体、たれといふのです。假りに病院の名義、として、ま、暫えも、素人相手では困る、此の前セラリアの敷地売却問題の時、自治會の希望通りに、應じられなかつた、のは、やはり正式に所轄官庁の許可を得、た団体でなかつたからです。だから、その点から、石の態度は判然として、います。

○かりに、ア、石移住地の継承団体が、ア、石の、出、ふ、よう、な、もの、に、な、らん、時、は、ど、う、な、り、ま、す、か。
下 は、つ、さ、り、し、た、お、答、へ、は、出、来、ん、が、ア、石、の、財、産、を、売却、して、でも、處、分、は、出、来、ま、せ、う、
○中央の學校の基本財産の土地がある、り、ま、し、た、ね、今、は、ウ、ニ、オ、ン、直、か、口、リ、ア、
I、E、と、そ、れ、の、自、分、の、区、に、持、ち、か、へ、つ、て、
○いる、物、と、な、つ、て、い、ます、が、倒、へ、は、そ、う、い、ふ、もの、でも、売却、する、より、任、務、が、あ、り、ま、せ、ん、
○売、つ、た、金、で、何、が、記念、に、なる、よう、な、施設、を、する、と、か、
○資金、で、ア、石、の、遺、産、物、へ、手、を、つ、つ、て、摸、

○権利を、これ、必要、はない、が、それは、自治會、が、まだ、一度、も、總會、を、開、いた、とい、ふ、こと、も、ない、し、定、款、を、一、度、も、見、た、こと、も、ない、し、只、き、く、と、ころ、で、は、区、長、さん、の方、の、果、然、に、過、さん、と、い、ふ、
○切、論、を、橋、さん、を、非、難、する、と、か、石、橋、さん、で、は、い、か、ん、と、か、
○ソ、ウ、い、ふ、問、題、で、は、リ、十、日、會、の、よ、う、な、バ、ス、ト、ス、立、場、か、ら、は、
○その、動、き、も、期、待、し、て、い、る、と、云、へ、ま、す、
○民、の、意、を、代、表、す、る、と、も、考、へ、ら、れ、ま、す、が、
○区、民、全、部、の、意、志、の、反映、とい、ふ、こと、に、な、る、
○事、も、や、り、自、治、會、を、ほ、ん、と、う、に、強、化、す、
○る、こと、に、な、れ、ば、總、会、か、ら、歩、み、出、す、可、い、
○で、せ、う、。

○これは私の、私、お、け、の、意見、ですが、区、民、の、代表、が、区、長、その、区、長、か、ら、成、る、自、治、會、に、選、挙、に、よ、り、不、い、人物、を、教、名、推、挙、して、共、に、意見、を、は、け、
○勅、選、議員、は、本、い、推、薦、議員、を、加、へ、て、お、く、事、は、団、の、バ、
○口、一、ル、を、倍、加、し、ま、す、が、ね、
○去年、で、し、た、が、ア、石、の、十、日、會、で、招待、者、
○が、最初、か、ら、最後、迄、ケン、カ、口、調、で、な、け、
○れ、は、己、が、事業、の、自、慢、話、に、始終、す、る、の、で、
○実、は、う、ん、ざ、り、し、ま、し、た、
○犬、猿、と、い、ふ、言、葉、が、あ、り、ま、す、ね、
○あれ、で、は、ど、う、て、い、何、
○一、つ、物、に、な、り、ま、せ、ん、ね、
○お、山、の、大、將、が、多、す、さ、ら、
○下、い、つ、れ、市、市、か、ら、支、配、人、が、見、え、て、ア、石、
○を、出、さ、れる、か、
○現、地、の、方、々、の、意見、を、伺、
○ふ、か、
○それ、に、よ、つ、て、ほ、い、此、の、問、題、も、向、
○ふ、べ、き、と、突、つ、こ、ん、で、色、々、お、尋、ね、し、たい、の、
○で、す、が、

○今、登録、を、急、い、で、い、る、と、い、ふ、こと、で、す、
○か、
○私、は、か、れ、これ、云、ふ、必要、はない、が、それは、
○首、尾、を、轉、倒、し、て、い、る、の、で、は、ない、で、す、か、
○自治會、が、まだ、一、度、も、總會、を、開、いた、とい、
○ふ、こと、も、ない、し、定、款、を、一、度、も、見、
○た、こと、も、ない、し、
○只、き、く、と、ころ、で、は、区、長、
○さん、の方、の、果、然、に、過、さん、と、い、ふ、
○切、論、を、橋、さん、を、非、難、する、と、か、石、橋、さん、
○で、は、い、か、ん、と、か、
○ソ、ウ、い、ふ、問、題、で、は、
○リ、十、日、會、の、よ、う、な、バ、ス、ト、ス、立、場、か、ら、は、
○その、動、き、も、期、待、し、て、い、る、と、云、へ、ま、す、
○民、の、意、を、代、表、す、る、と、も、考、へ、ら、れ、ま、す、が、
○区、民、全、部、の、意、志、の、反映、とい、ふ、こと、に、な、
○る、
○事、も、や、り、自、治、會、を、ほ、ん、と、う、に、強、化、す、
○る、こと、に、な、れ、ば、總、会、か、ら、歩、み、出、す、可、い、
○で、せ、う、。

○これは私の、私、お、け、の、意見、ですが、区、民、の、代表、が、区、長、その、区、長、か、ら、成、る、自、治、會、に、選、挙、に、よ、り、不、い、人物、を、教、名、推、挙、して、共、に、意見、を、は、け、
○勅、選、議員、は、本、い、推、薦、議員、を、加、へ、て、お、く、事、は、団、の、バ、
○口、一、ル、を、倍、加、し、ま、す、が、ね、
○去年、で、し、た、が、ア、石、の、十、日、會、で、招待、者、
○が、最初、か、ら、最後、迄、ケン、カ、口、調、で、な、け、
○れ、は、己、が、事業、の、自、慢、話、に、始終、す、る、の、で、
○実、は、う、ん、ざ、り、し、ま、し、た、
○犬、猿、と、い、ふ、言、葉、が、あ、り、ま、す、ね、
○あれ、で、は、ど、う、て、い、何、
○一、つ、物、に、な、り、ま、せ、ん、ね、
○お、山、の、大、將、が、多、す、さ、ら、
○下、い、つ、れ、市、市、か、ら、支、配、人、が、見、え、て、ア、石、
○を、出、さ、れる、か、
○現、地、の、方、々、の、意見、を、伺、
○ふ、か、
○それ、に、よ、つ、て、ほ、い、此、の、問、題、も、向、
○ふ、べ、き、と、突、つ、こ、ん、で、色、々、お、尋、ね、し、たい、の、
○で、す、が、

○今、登録、を、急、い、で、い、る、と、い、ふ、こと、で、す、
○か、
○私、は、か、れ、これ、云、ふ、必要、はない、が、それは、
○首、尾、を、轉、倒、し、て、い、る、の、で、は、ない、で、す、か、
○自治會、が、まだ、一、度、も、總會、を、開、いた、とい、
○ふ、こと、も、ない、し、定、款、を、一、度、も、見、
○た、こと、も、ない、し、
○只、き、く、と、ころ、で、は、区、長、
○さん、の方、の、果、然、に、過、さん、と、い、ふ、
○切、論、を、橋、さん、を、非、難、する、と、か、石、橋、さん、
○で、は、い、か、ん、と、か、
○ソ、ウ、い、ふ、問、題、で、は、
○リ、十、日、會、の、よ、う、な、バ、ス、ト、ス、立、場、か、ら、は、
○その、動、き、も、期、待、し、て、い、る、と、云、へ、ま、す、
○民、の、意、を、代、表、す、る、と、も、考、へ、ら、れ、ま、す、が、
○区、民、全、部、の、意、志、の、反映、とい、ふ、こと、に、な、
○る、
○事、も、や、り、自、治、會、を、ほ、ん、と、う、に、強、化、す、
○る、こと、に、な、れ、ば、總、会、か、ら、歩、み、出、す、可、い、
○で、せ、う、。

○これは私の、私、お、け、の、意見、ですが、区、民、の、代表、が、区、長、その、区、長、か、ら、成、る、自、治、會、に、選、挙、に、よ、り、不、い、人物、を、教、名、推、挙、して、共、に、意見、を、は、け、
○勅、選、議員、は、本、い、推、薦、議員、を、加、へ、て、お、く、事、は、団、の、バ、
○口、一、ル、を、倍、加、し、ま、す、が、ね、
○去年、で、し、た、が、ア、石、の、十、日、會、で、招待、者、
○が、最初、か、ら、最後、迄、ケン、カ、口、調、で、な、け、
○れ、は、己、が、事業、の、自、慢、話、に、始終、す、る、の、で、
○実、は、う、ん、ざ、り、し、ま、し、た、
○犬、猿、と、い、ふ、言、葉、が、あ、り、ま、す、ね、
○あれ、で、は、ど、う、て、い、何、
○一、つ、物、に、な、り、ま、せ、ん、ね、
○お、山、の、大、將、が、多、す、さ、ら、
○下、い、つ、れ、市、市、か、ら、支、配、人、が、見、え、て、ア、石、
○を、出、さ、れる、か、
○現、地、の、方、々、の、意見、を、伺、
○ふ、か、
○それ、に、よ、つ、て、ほ、い、此、の、問、題、も、向、
○ふ、べ、き、と、突、つ、こ、ん、で、色、々、お、尋、ね、し、たい、の、
○で、す、が、

○今、登録、を、急、い、で、い、る、と、い、ふ、こと、で、す、
○か、
○私、は、か、れ、これ、云、ふ、必要、はない、が、それは、
○首、尾、を、轉、倒、し、て、い、る、の、で、は、ない、で、す、か、
○自治會、が、まだ、一、度、も、總會、を、開、いた、とい、
○ふ、こと、も、ない、し、定、款、を、一、度、も、見、
○た、こと、も、ない、し、
○只、き、く、と、ころ、で、は、区、長、
○さん、の方、の、果、然、に、過、さん、と、い、ふ、
○切、論、を、橋、さん、を、非、難、する、と、か、石、橋、さん、
○で、は、い、か、ん、と、か、
○ソ、ウ、い、ふ、問、題、で、は、
○リ、十、日、會、の、よ、う、な、バ、ス、ト、ス、立、場、か、ら、は、
○その、動、き、も、期、待、し、て、い、る、と、云、へ、ま、す、
○民、の、意、を、代、表、す、る、と、も、考、へ、ら、れ、ま、す、が、
○区、民、全、部、の、意、志、の、反映、とい、ふ、こと、に、な、
○る、
○事、も、や、り、自、治、會、を、ほ、ん、と、う、に、強、化、す、
○る、こと、に、な、れ、ば、總、会、か、ら、歩、み、出、す、可、い、
○で、せ、う、。

サンジョセ 中学校父兄會會計報告並に寄附者芳名

三〇〇.〇〇	石橋長見様	二〇〇.〇〇	依木久輔様	一〇〇.〇〇	リノイ市市長	一〇〇.〇〇	池内藤茂様
三〇〇.〇〇	榎常孝	二〇〇.〇〇	桑元貞生	一〇〇.〇〇	藤原直輔	一〇〇.〇〇	奥田一美
三〇〇.〇〇	水馬久	二〇〇.〇〇	林武七	一〇〇.〇〇	西川誠一	一〇〇.〇〇	松本久雄
三〇〇.〇〇	古賀茂	二〇〇.〇〇	岡本一	一〇〇.〇〇	崎田春一	一〇〇.〇〇	藤井照作
二〇〇.〇〇	畑中仙次郎	二〇〇.〇〇	後藤利一	一〇〇.〇〇	本田一男	一〇〇.〇〇	八重脛辰見
二〇〇.〇〇	田中穰	二〇〇.〇〇	米沢徳明	一〇〇.〇〇	東利徳	一〇〇.〇〇	小池源衛
二〇〇.〇〇	吹木次男	二〇〇.〇〇	谷口章	一〇〇.〇〇	中熊又男	一〇〇.〇〇	古田義松
二〇〇.〇〇	農田啓	二〇〇.〇〇	板垣泰徳	一〇〇.〇〇	長橋智	一〇〇.〇〇	佐野万太郎
二〇〇.〇〇	池田正雄	二〇〇.〇〇	藤原荒次郎	一〇〇.〇〇	尾甲保	一〇〇.〇〇	吉田
二〇〇.〇〇	渡部バウロ	二〇〇.〇〇	山中陽之助	一〇〇.〇〇	守越外治	一〇〇.〇〇	古沢高止
二〇〇.〇〇	重道永栄	二〇〇.〇〇	前山義雄	一〇〇.〇〇	落龜作市	一〇〇.〇〇	左居豊市
二〇〇.〇〇	時川一馬	二〇〇.〇〇	上西泰治	一〇〇.〇〇	河内憲治	一〇〇.〇〇	梶山半次
二〇〇.〇〇	小茂田光明	二〇〇.〇〇	龜田比呂	一〇〇.〇〇	浦尾樹	一〇〇.〇〇	石橋光男
二〇〇.〇〇	大郎田衛	一五〇.〇〇	井上孫六	一〇〇.〇〇	山本一男	一〇〇.〇〇	伊藤
九〇.〇〇	モシヤウ	二二〇.〇〇	カサカサ	五〇.〇〇	黒木留藏	一〇〇.〇〇	長多徳之助
一〇〇.〇〇	カサカサ	三五〇.〇〇	松森留外	五〇.〇〇	杉山寅三	一〇〇.〇〇	小林茂
五〇.〇〇	ボシヤウ	二〇〇.〇〇	スロリア	五〇.〇〇	田中国治	五〇.〇〇	細江英
二〇〇.〇〇	ボシヤウ	二二〇.〇〇	シヤカラ	五〇.〇〇	山村吉左	五〇.〇〇	長瀬國松
二二〇.〇〇	ナウチ	五〇.〇〇	古賀マサ	五〇.〇〇	坂本真吾	五〇.〇〇	栢野春子
二〇〇.〇〇	アルト	五〇.〇〇	後藤孝一	五〇.〇〇	後藤孝一	五〇.〇〇	佐久間秀雄

収入合計 金十六千四百五十五也

支出合計 金六千二百四十四也

内訳

古賀マサ借借賃 二〇〇.〇〇
 五等進、賞品 一五三六.〇〇
 式場装飾用、花 二二.〇〇
 帳面其他 四七.〇〇

差引残金 九千二百一十一也

前記の通り向報告申し上げます。種々整理の都合にて差引の誤御詫言致しませう。

一九二三年三月七日 石橋長見、榎常孝、山中陽之助、本田正雄、上西泰治、落龜作市

賣家

場所 バストス市 アテマル・バロス街四六五
 建物 道路に面し 10x5 レンガ建 10x3 下屋付

14x6 木造倉庫一棟あり、別に住宅
 二十二x六m (住宅) があります

諸方ブリツカ向き最も適當とあります
御希望の方は左記へ御尋ね下さい

アテマル・バロス街 (福森家具店上)

作問

俳誌ホトトギス入選句

(バストス俳人の部) 二月三

捨て馬の尻へ一と鞭 枯野星 宮崎北眠
 店扉とグ壺蔭の町の午後一時 改東春歩
 春の水蹴上げて廻る水車か 松本飛花
 冬服も褪せて九州移民着 大河内植木
 老ニムロニ代に仕へ年木つむ 山本富子
 粽結ふ子に母の國美しく 吉田あづま
 黙々と農事実習蛇の音 山本秋扇
 開墾の疲れ果てず朝霞 佐々木百雲

コレイオ
郵便局より

左記ユービン物郵画とて發表されました

書留又は印刷物

受取人

二月十六日付 三宅 すみ子
二月十七日付 三宅 すみ子
二月十八日付 吉本 忠信
三月四日付 越智 義子
三月五日付 竹原 とし子

日本からの手紙

熊谷龍雄様 山形 坂東嘉一 より

小出 峯松様 愛知 井藤キヨミ より

山村吉右衛門様 静岡 U・山下 より

西山千司様 名古屋 國富菊野 より

味野謹子様 慶徳 中崎武雄 より

石田美和子様 石川 石田友雄 より

増田文雄、ミツエ様 熊本 西村慶多 より

渡辺忠一様 鳥取 渡辺元治 より

益岡 曾様 岡山 片山千尋 より

国内の手紙

田中ヒロ子様宛三通 甲 若山 より

萩原幸太郎様 MINEETTER 様

加藤ヨシタカ様 "

本人又は心当りの方は至急心取りに来て下さい
植木商店にあづかつて居ます

加賀川豊彦先生近況

加賀川先生は積年の魚理が宗ったのと氣候風土の關係で餘り魚理を講演旅行が来ず、バ線はマリリア、ホセイナ、バストス、アムマンチナの四ヶ所となった。バストスは四月十三日夜一回十四日午後と夜と二回になつて居るが、午後の方は青年団の方々の為めとて座談的の方法に変更へるかも知れない由尚教金側主催者側とは旅費の一端にもとの心から志ある方よりの献金をも取扱ふ由

土地 賣り度し

場所 カスカッタ区六組 六九、七〇号地
所から四キロ、カスカッタ区への入口
建物 住宅倉庫 鶏舎(七×五一ル)
川水 豊富にて牧畜、養鶏、野菜
に最適のロツテです
委細面談(左記へ申ね下さい)
カスカッタ区六組

菅波 勉

衛生局公示

4

6: Cidade limpa significa povo civilizado. Não façam da via pública a continuação dos seus quintais. A água servida em sua casa deve ser destinada para a festa própria. Cidades com o Posto de Saúde e Prefeitura na limpeza da sua cidade. 町の清潔は文化人の家徴だ。公共の通路を自家のキントールの續きと考へてもうそれは困る。自家の汚水は必ず自家用の穴へ流してもらう。度々、市役所と衛生局に協力して町の清掃に努められ度い。

7: Bostos merece da parte de seus moradores um pouco de atenção e cuidado. Não lancem na via pública águas sujas ou servidas. Cidades com o posto de Saúde e Prefeitura na limpeza da cidade e bem estar da população. バストスに住む一般の方々もその方面の事に今少し注意を喚起し関心をもってもらい度い。通路に汚水を流してはいけない。町の清潔及お互いの生活を向上すべく衛生局、市役所に協力していただき度い。

Dr. Erasmoが毎回口をすくして汚水放流を警告しているが、實際歩いて見ると、水溜りがある。うそと思はれるなら、産業組合・階級側へ廻り見られよ、石橋さん邸附近も、水溜りがつも見える。これは上部から流れ来た、たまり水である。低い所ほど被害を受けるわけだ。

少年を求む

クルッポを卒業したものの事務の見習として二名
右至急入用につき、御来談下さい

バストス商業事務所

浦 樹
西 徹

今までの殻を脱いで

大改革を断行

新にバスと写真同好會生る

去る二月八日写真會々員十五名は来る

二十五周年行事中の第六回写真展開催

準備の爲め大野養雞場池畔に集合し

次の様な事項を協議及決定した。

(一)名称をバスと写真同好會とする。

従来はアマドルを主体としアマドル写真會

としてお發していたが技術の向上、練習の爲め

その名称を解消し會の發展と向上を目標と

してお互いに肩書を捨てテロもアマも打って

一丸とした會とする事となつた。

(二)會費制を採用する。

會員の自覚、會の運営上、會員は毎月十計

の會費を納め、これを写真展、写真撮影

ロフニング等の費用に充てる。

(三)審査を二部とする。

技術が非常に違ふことなる爲め今後の寫

真展の審査は會員を二部に分つことにする。

(四)委員制とする。

會長とか役員とかをやめ、會の連絡の爲めに

委員をおくこととなつた。

古田 早川、小沢、上島、長橋の諸氏が選

同日池畔の夕陽を浴びて一同記念撮影と

したが、之は、ストコマツタ出版のバスと写真展

二十五周年記念写真展にのせる爲めの由。

新會員歓迎 此の際写真同好の方

の入會を歓迎します。

本會では三月毎に定例カメラ競技と

行ひます。或は別な集會を催すこともあり

ます。技術向上に参考となる点が多い。

トッパン写真展 三月十五日より向ふ一週

間、同中野球クラブに於て写真展が南館に於て

バスと写真同好會より求めに於て二十点程

の出品として出品しました。

會員見學 来る十八日午後七時半、本會

同展覽會を見に参ります。土曜帰着

の予定。

撮影競技大會 全員、套って参加ありたい。(下段へ)

本會では来る五月十日、チエテ河アバニ
ヤンターバ大瀑布に大遠征することに成りま
した。お發は午前二時、夜明け決着、同日夜
中に帰植の予定。(カニエネツテ三二日)
今より腕を捻って御期待下さい。
おべんとうは各自持参、お場は會員のみ。

左の人々は税金を拂ひなさい バスと市役所からの通知

郡税(家屋税、宅地税、道路税)未納分
三月末にツイン裁判所へ取立てを依頼す
べあたりの人は至急、市役所に去頭され度し。
(御存知の通り裁判所より執達吏を差向け
られると、多大の費用追加集とれます)

高橋朝太郎、戸田アキラ、石田ゲンゴ

シエー組合、コチア組合、フラタラ製糸

バンテララテ組合、バスと産業組合

小川文雄(小倉文雄?)、佐藤福太郎

江利英雄、中野ヒロシ、寺岡七郎

下津一郎、佐藤保治、武山ヨ一、助

佐藤重吉、長瀬次郎、草野、薫

大家熊次郎、秋田清松、高沢憲三郎

後藤七松、野島かほる、山口金丸

上原幸作、小野清心、宮崎コイキチ

守越赤太郎、長瀬國松、山川吉次郎

岡本一男、本田好、MIZRAGUTI NEDA

池田正雄、津山万造、岡本 NAZAKO

NOBURU KONDO、渡辺信郎、若井龍太郎

福田良郎、鈴木良一、畑中仙次郎

松尾清一、戸田末雄、中原、進

檜浦繁、島袋清徳、桑元貞雄

斎藤シガ、久口リアビ、上西繁太郎

畑中唯雄、坂井孝、ASSAKU STECO

斎藤留吉、西原留吉、トキワ、ミナイ

小関タケエ、古沢高正、小田功敏雄

大西忠彦、石沢タカ、三宅安太郎

古賀ヨシト、阿部ヨシヲ、柳浦ヨシ太郎

永坂、飯塚財吉

(註)右は何れもローマ字綴りで誤記が多いのを
判読したのもあります。死した氏名、耕種した
人もありますが、それらの人から土地宅地を買
受けた際、納税関係とあるを以てあった場合
土地にかゝつて来ますから、引継いだ人が各自
出頭して解決されるよう注意を怠らぬ。

北伯難民救済金募集 バリスタ線バス大市バス大中央区會報 C.P. 89

北伯難民の救済金募集につまましては各位の多大なる協力を得まして三月十日より一回々
メカリサンバウの総領事館を通じて物資に替へ送附方を依頼いたしました。左記の如く受
取に代へ御報告申上います

一九五三年三月十日 ハ バストス 中央区會

募金合計 八三〇三五針也

(一組ノ部) 二〇〇針 フラ製糸工場 一〇〇針 橋本光義 六〇針 鏡畑茂十郎

(五〇針宛) 谷口章 古沢清次、亀甲保、(二〇針宛) 織田守男、塩田三郎、松崎貞則、
丸山秀雄、竹内清一、角南勉、吉岡竹衛、握山茂平、土井惣平、橋元篤、阪東啓二、
浅田正義、境井常吉、阿部新藏、新家國治、原田宗七、佐藤福太郎、加納嘉幸、石沢信吉、
小野等志、樋上治作、永松亮、 飯島隆、座味、上杉研治、吉田力子、笹谷茂之助、
木並かの、宇都宮米子、魚石、 無名、河野シカ、小西ヨシ子、梅田ツミ、内宿重太郎、
緑川とく、(三〇針) 石橋三雄 (一〇針宛) 高田登、栢野益子、吉田房雄、増田正義、
握山半次、田結左武夫、及川光、大久保健次郎、左居豊一、白井シナエ、永瀬國松、村松寅之助、
後部信夫、橋本圓太、藤好次郎、大崎五郎、松原ミツル、貞永三郎、湯井シヅ子、水田友也、
長谷川翠、八重樫とみの、 小計 一、五〇〇、〇〇也

(二組ノ部) 二〇〇〇針 前山義雄 一〇〇〇針 佐々木文輔 (五〇〇針) 木村久聲、池内藤茂、
松尾清一、前田幸一、米沢徳明、奥田氏藏、田中穰、中島善次、黒木富藏、小池源衛、
早川栄松、藤原荒次郎、西 静一、崎田春二、(三〇針宛) 北野、坂垣泰、
熊 古沢 二〇針 飯沼 五針 中城 柱 (浦島村) 小計 一、一六五針也

(二組ノ部) 二〇〇〇針 桑元貞生、池田正雄、三野善一、一〇〇〇針 高田重利、
(五〇〇針) 上島晴男、山本一男、七比多徳之助、山根立太、菊池豊、岡本一二、
先石クケ、 時川一馬、 松本実、杉山寅三、小松芳五郎、棟近茂能 (三〇〇針) 、、、、
西本清人、 矢野俊平、 越智守 林武七、奥田保則、佐野、細江翁、佐伯時春、
古谷筒市、 後藤久米花 (二〇〇針) 平井俊夫、永吉久男、山本力、柴田トラノ、岡田孫一、
岡田 勇、奥田一美、八重樫辰見、中原、白須富貴栄、増田吹江、横田正義、黒川操、
草原英雄、小倉秀雄、 谷千之 (一〇〇針) 友谷千之、藤原 亘、宮村エミ子、紫藤唱、
古賀ミチ子、熊谷子太夫、 小計 一、九六〇、〇〇也

(三組ノ部) 二〇〇〇針 古田美松、重道永栄、太郎田衛、小民田光明、(一〇〇〇針) 、、、、
西川誠一、本田二男、後藤利一、(五〇〇針) 宮崎将義、中村國政、守越外治、
落籠ヤエ子、板垣秀琴雄、村上寿太、岩崎惣吉、古川勝、杉藤助、福森長助、伴間章作、
松本、内商會、戸田幸、西 徹、阿部二郎、亀田忠楽、佃 薫、戸田源作、
(三〇〇針) 能見利八、教内弘、(二〇〇針) 植木画二、水口啓、本林谷憲國、西野

河内竜治、古賀茂、柳浦宗一、渡辺 倉、岡村林太郎、内山シシ川辺イサノ、列府、
守隆、飛田、永橋政次郎、佐野万太郎、森谷、大家盛夫、湯井浅次、小田功太郎、
佐藤 勇、東ヨリ子、伊藤トキ子、島本 小計 二、五〇〇、〇〇也 浅野 三雄

(四組ノ部) 二〇〇〇針 榎常孝 一〇〇〇針 上西義治、吹本次男 三〇〇針 藤原直輔、
二〇〇針 坂本真吾、菅原寿治、塩田主基雄、井上栄作、青森良雄、田中 登、
黒川 孤三次、細谷延行、金子貞次郎、井上祿六、宮武勝、市川清祐、高岩幸一、
小林 茂、大河内一、森辰市、茂庭比亮、崎田良平、鈴木清人、島本 栄雄、
小川文雄、青木富男、早川里美、(二〇〇針) 柳屋 勲、佐藤 孫次、
早川忠彦、水口主計、大塚咄夫、野島吉留、新津友好、小計 九一〇、〇〇也

一組 一、五〇〇、〇〇 (三組 二、五〇〇、〇〇) 合計 八、〇三五、〇〇也

二組ノ部 一、一六五、〇〇 四組 九一〇、〇〇

二組ノ部 一、九六〇、〇〇

以上

6

キリンボ 日記 4

糸遊子

二月六日

私の病氣はエキゼーマといふのだ相で体内疾患を發生の起原とする皮膚病の然称だが小は汗疹様のものから大は雁瘡のようにな奴に至る迄、手足にふき出すもの、顔面首筋にひろがるもの百種、必ずしも外觀一色でないが、相通するものは非常な痒痛で、われしらす患部をホリホリ掻いてしまふ。掻いたあとには必ずフラーホーで又一しほの御難症である。まことに厄介な下等な、いや下賤な病氣である。しかも貴族階級に多いといふから世話は無いぞ、そむく私がこのエキゼーマにとつつかれた最初の症状は左頬中央ほのよきところに小豆大の赤い斑が一つ二つ出来て、いやに痒いので爪の先きでホリホリやったら一夜の内に鶏卵大に拡がり翌々日は左右両頬顴骨の辺り迄、ふくれよってしまつた。驚いて藥局に行つたが私自身頭癬だと思つていたので、その手当てとして貰つたが、治るどころか、だんくひとくになって痒いの候の、一度でも経験のあるひととなり判るが、氣の狂行程、いたがゆい。十二月下旬から始まつて年末に達したと熾烈を極めたが、まだエキゼーマとは知らなかつた。年末には毎夜のようにビールを飲み微薰があれば患部を刺撃して苦しかつたが、毒を以て毒を制すつもりで敢然として飲みあふつた。酔つたのちの痒痛は一しほは深刻な夜の軋々として眠れなかつた。おまの苦痛に遂に杖を折つてしまつた。五十一年し、つてじりりと鍛え上げたわが面道も、よく別れなければならぬかと空しく仰いで嘆息した。が或は神様か私を救ふ為めに天道を翻つの一策を授けられたのかも知れない。

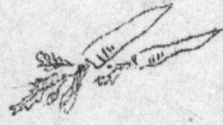
しほのエキゼーマの行因はアルレルだとは云へない。その証據には頭、足にも多し。婦人にも沢山出る病だ。だから世の、のみ助諸君、ゆめゆめ禁酒などする必要はない。大いにのんで家庭を乱した社會に毒を流さん程度内であはれ、くれ給。

此の病氣は「もてる階級」特有の上等の病氣だといふが、これは少しく研究の余地がある。現に治療に來てゐる連中のウラ

を見ても判るが貴族出身、富豪出身のものは居りぬようである。私もその一隅に小こくなつて入浴の準備をするのフアの一人である。エキゼーマにかかりやア早くて半歳、長ければ五六年は夢の間に過ぐ大きな身代もすりつぶすといふ、亦にも恐ろしい文明病。去る日農田ドトルが態々拙宅に御来駕、やアおぢさん飛んだものをつかんたネといかにも私が安物でも買つた様に云ふので頭をかいで手当の方法をきくと、現代の医学では簡単な治療法でナものは無いと言はぬばかり、聖市のラポラトリオの專回医に血液検査を受け、蛋白質の異状性を發見して貰ふ、そして障害を受けて居る血液（或は血精といったかす）のアルゼンと平常に復する處理をする。注射薬を特別に作つてもうふのが最も進んだ治療法だといふ説明であつた。

あまり大々敷しくて、よくのみ込めんがアルゼンなるへてハイカラなもんだ、するとバクテリヤのせいではないらしい。

「あつかがとでもさうふんだ」と私は老妻のつれなきさどトルに訂へて見たら「誰だつて、そんなの嫌ふ。だけど傳染りやせんから大丈夫だ」と言つた。此の一言で床屋でひらつたなどといふ嫌疑は一ぺんに吹飛んでしまつた。次頁へ



セツト

信用ある

セメンテ

一九五三年度のタネ、おまちかねのセメンテが入荷いたしました。

◎リオカランテ種子
セボラリオカランテ、大形赤人参、白色レポリヨ、サヤ豆、エンドウ、等々

◎北米種子
レポリヨシマ、ネキンタール、中長赤ニンジン、アルファセクレスパ等

◎ヨーロッパ種子
コーベフロー、フランセース

日本種子
新早生、みの九日、宮重、ねりま、聖護院の大豆各種、結球、ケイ、山東、朝鮮、ハクサイ各種その他、冬やさいのタネ

賣り切れぬうち御用命下さい

定評あるタネモノ店

植木商店



みなさんのおすすすめにより
MILHO

ニリーヨの

脱穀を御引受けいたします

ニリーヨの買入・販賣

ニリーヨのキレイラ製粉

粉末アルファファ製造

右何れも便利に迅速に

御各様本位に奉仕いたし

ますれば御利用の程御

願ひ申上げます

スイスネノベンスワ街

パール中村のとなり

清水商店

Yoshioka Taka Shingyu

キロンボ日記つゞき

エキゼーマ治療の爲の二週間はかり五リリア
をもらつてキロンボへ来たのもドトルが「キロンボ
でも治らんこア魚いた」一時おさまる丈だ、まア行
つて「りん」と満更でもない口吻だったので、その
信頼の方へ八十%はかり。エキゼーマ卒業生の証
言ニの%の結果だがキロンボの水でも草津の
湯でも五日や六日では神効を見せてくれない。
宿のおやがさんなども「オアニニヶ月中つくり養
生しなさいよ、慌てるこアない」

とうく私は有閑階級の隠居にされてしまった。最
初おアお茶代を氣前よくはづんだのが悪かった。

二月七日

リンスから来たといふ老婦人、顔にへんなもの
が出来た。漆髪液のかぶれであらうと思つてい
ると、だんく痒くなり痒痒出来ずに、薬はほ
肘よと敷いたが一向にきかぬ。知人のすすすめで生
長の家のお話をきいたといふのである。

「お話しは誠にけつこうでございませうだが痒く
このんし、ヤッほしお話しだけでは、いませなんだ
と正直なことをいっていた、

入浴がこみ合ふので日中暑い時はアツママの
中で朝夕は浴場前のバンコに腰かけて頓着

を待つのが、今日は面白いことが二つあった
一老伯婦人が、まっくらな顔をしていて、ゴ
ンベの婦人がどうしたのか尋ねた、すると隣室
の神聖痛氏がエキゼーマは芭蕉の芭蕉のシ厚汁
をつけられよいと教へたので、やつて見ると此でん
なに黒くなつてしまつたと話すと皆が笑つた。
マリヤとかの老人は毒茄子の葉を輪切りにして腫
物へ貼ることと、さる外人から教へられてやつて見
たが痛さに、たえかねて、こへ来たといひ、やはりキ
ロシホの水がエエワイと云つて皆が笑はせた
苦い時の神だのみ、誰か、一寸何か教へると
忽ちそれにといつき、胸に十字を切るその心持、わ
たしにもさく判るが、芭蕉の芭蕉も毒茄子の葉も、ク
スリノ魚かつた時代の、ハスレ式漢法で、長良療法
を今日くりかへすのも、ちと逆行、スのよに思ふ。
ここの温泉でも一立の水に何万分の一スラフレ、か
含有して居ないのだから、一週内や二週間で具
験あらたかとは行かぬだらう、そんなに効いた
ら、医者かほく。
効くと思ふのは心理的行動が八〇%だ、だから
迷信でも何でも一功のなまよき邪心を去つて
ヒタスラ平癒を念する一心を神になつかけ
る……宗教心だナ。こいつの中々馬鹿になら
ないのである。
去る日植木商店の前で……切りが悪いが以下
次号へ……

思ひ起す

十数年前杭州湾敵前上陸
の部隊に参加従軍して、その体験
を、元の古賀シネマ館で講演した。

おなじみの人！

岡山県日伯協会理事長
元代議士

多加貝安郎氏

大講演會

来る三月廿三日二十時

バストス産業會館に於て
入場無料

戦後日本の実情をオカかれよ

主催 バストス自治會

後援 在バストス岡山県人会